

check it up! >>>



光沢感溢れるシザル麻を採用

天然素材のシザル麻を使用し、鮮やかな発色と光沢を実現したシザル・シリーズ。防音・防炎・耐久性に優れ、かつ天然繊維ならではの静電気防止効果も発揮する。同シリーズは、計7色のチェックカラーをラインナップ。



車種別専用設計ストッパー

フロアマットのストッパーは、メーカーや車種、年式によってそれぞれ異なる。KAROはそれらのデータを細分化し、スズキ・アルトからエンツォ・フェラーリまで(！)、計2283車種ものデータを確保しているという。



エンブレムは追加も可能

ブランド設立元年となる1980年から、フロアマットを作り続けて約30年となるKARO。そんな彼らの歴史と誇りを刻み込んだようなエンブレムが、ドライバーの足元に施される。このエンブレムは特注で追加することも可能。



純正ストッパーへのこだわり

VWやアウディ、メルセデス・ベンツなどの一部車種には、フロアに固定されて取り外せないストッパーフックが付く。KAROでは、それら純正フック対応のストッパーを現在開発中とのこと。気になる方は、ぜひお問い合わせを。



KARO

SISAL SERIES

BMWのインテリアを表情豊かに演出しよう

インテリアをイメチェンしたいけど、何から始めればいいのかわからない——。そんな悩みを抱えているなら、まずフロアマットを交換してみてもいいか？簡単な作業でご覧の通り、室内をこんなにも明るくしてくれるのだから！

レポート | 編集部 | フォト | 水野孔男 | Y.Mizuno

問い合わせ先=カカロ ☎03-3374-1955 <http://www.karo1980.jp>

インテリアをイメチェンしたい、でもステアリングやダッシュボードのトリム、シートを交換するなんて大掛かりなことは……。そんな方々にオススメしたいのが、お手軽なリプレースだけでインテリアの表情を豊かに演出してくれる、KAROのフロアマットだ。

上のタイトル写真は、編集部の足グムである現行BMW3シリーズのインテリア。元々はブラック単色のフロアマットが装備されていたが、今回はインテリアのカラーにあわせて、KAROのシルバークラックのマットを装着してみた。結果はご覧の通りで、どちらかといえば地味だったインテリアが一変、ぐっと明るい表情を見せてくれた。交換作業自体が非常に簡単。それでいてイメチェン効果も十分に味わうことができるから、フロアマットはインテリアチューンの「はじめの一步」に持つてこいのアイテムといえる。

計2283車種にのぼるフロアマットデータを蓄積

KAROは国産車、輸入車を含む計2283車種のフロアマットをラインナップするほか、データのない車種、ロールバー装着車など、フロア形状がオリジナルと異なる車種でも、採寸できるものであれば特注でワンオフのマットを作ることができるのだ。

今回ご紹介したのは、光沢感溢れるシザル麻を使用したシザル・シリーズ。このほか、天然ウールの風合いを表現するウーリー、耐摩耗性に優れたクローネ、フロアの防音&断熱効果を発揮するクエスト、ウール地ながら高い発色性をみせるフラクシーなど、計5シリーズがラインナップ。BMW3シリーズ・ツーリング(E91)用は、3万1700円となる。